

学校給食への自治体独自の補助

(2017年愛知自治体キャラバンまとめ)

市町村名		給食費の自治体独自補助など
3	岡崎市	2014年度から給食食材費にかかる消費税増税分3%を負担している。また、2016年度から市立の小中学校の児童生徒を対象に4月分を無料化している。
9	津島市	小学校・中学校それぞれ1食あたり15円を補助。
13	安城市	2017年4月より第3子以降給食費無料化。
22	東海市	2014年4月からの消費税増税に伴い、財材料費にも転嫁されているところであるが、本市においては、増税分の3%については、市で負担し給食費自体は、従来のみまとしている。
28	岩倉市	第3子以降給食無償化。
30	日進市	1食あたり3円の地産地消に対する補助を行っている(保護者からいただく給食費は、小学校240円、中学校270円だが、材料費は、小学校243円、中学校273円を目安としている)。
32	愛西市	1食あたり10円の補助。
37	あま市	1食あたり10円の補助。
38	長久手市	市負担1食あたり20円＋地産地消推進市負担1円(保護者負担額と別途)。
41	大口町	半額補助。
43	大治町	児童生徒一人につき月額200円の補助。
44	蟹江町	消費税率変更及び物価上昇の動向に対し、子育て世代への経済的支援として1食あたり30円の公費負担を行い、保護者負担金を据え置いています。
45	飛島村	1月あたり600円の補助。